## 法然上人 開宗 御和讚





## ポイント注意明るく、力強く。

●「摂取不捨」は声をおさえて「み光りを」で盛り上げ、喜びと感謝の思いで 「仰ぎて八百五十年」となります。報恩の気持ちでお念仏となります。

(歌詞は5ページ)

## 御 忌 和 讃

高津 ときを 作詞

- 1 承安五年の 春なかば 都の花に さきがけて 満世を救う 声あらた 専修の削は 開かれぬ
- 2 み教えあまねく 広まりて心に染み入る お念仏流れあふれて 苦水の歴史は清し 八百年
- 4 華頂の嶺は 松青く 久遠の教え 日々若し 聖 法然 たたえつつ 拝む命の やすけさよ

## かい しゅう 開 宗 和 讃

成田 教淳 作詞

- 1 承安五年の巻弥生 祖師は御齢四十三 弥陀の教いの手をのべて 開き続いし浄土門 摂取木捨の み光を 仰ぎて八百五十年 この喜びをことほぎを 思いあらたに報謝せん 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏
- 2 愚痴のわが身を煩悩を 夢め結えと苦がの 流れにみ名を称うれば 尊き教え ありがたき 光明偏照 戸影の ながむる人にすみわたる この喜びを 宿縁を 憩いあらたに報謝せん 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏
- 3 祖師のお遺訓 たのもしや 生けらば急仏のうがつもり 死なば浄土にまいりなん とてもかくてもこの身には 説いわずろうことぞなき この身このまま敷わるる このっきびを慰徳を 思いあらたに報謝せん 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

(音譜は6ページ)